



信州うえだ医療センター（教育センター）視察



H24年度会派で地域要望を知事へ



「発達障がいについて学ぼう」セミナーと県政報告会



「こんにちは 県議会です」in 上小



会派での中央省庁H24年度予算勉強会



豪雪の飯山市・栄村へ現地調査



H24年度正副議長と会派室で
文教企業委員会 副委員長としてスタートします



新生会（1期生議員）
阿部知事との懇談



脳脊髄液減少症患者の方々と知事要望



宮城県岩沼処理区 がれき処理場視察

清水じゅんこ 長野県議会だより

2012年4月
春号（第3号）

県民クラブ・公明
発行責任者 小松千万蔵

長野県庁
長野市大字南長野字幅下 692-2
☎026-232-0111（県庁代表）

ごあいさつ

桜の花のつぼみも膨らみを増し、春の日差しが
感じられるようになりました。

皆様には益々のご清栄のことと存じます。日頃よ
り暖かなご支援を頂き心より感謝申し上げます。

昨年、皆様に県会に送って頂き1年が経ちまし
た。一層「地域に入り、一人の声を大切に」生活者
の目線に立ち、皆様の要望にお応えしてまいりま
す。昨年の東日本大震災から1年が経ち、改めて亡
くなられた方々のご遺族の方々に心より哀悼の意
を表するとともに、被災された方々にお見舞い申し
上げます。この辛い経験を忘れることなく、教訓を
生かし、新たな地域社会の構築と安心、安全な街づ
くりを築いて行くため、全力で働いてまいります。



防災一口メモ

防災・減災は「自助」「共助」「公助」の組み合わせが基本です。
「自助」の強化が自分と家族を守ります。

地震が起きたら

- ・外出中は「むやみに移動しない」
- ・帰宅が必要な時は徒歩が原則です。普段から複数の帰宅コースを想定しておきましょう。
- ・携帯ラジオで情報収集を。噂話は信じないことが大切です。
- ・家族の安否確認は、携帯電話の「災害用伝言板」や災害用伝言ダイヤル「171」などを利用しましょう

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

伝言を残す

- ①「171」をダイヤル
- ②音声ガイダンスに従って「1」を押す
- ③自宅などの電話番号をプッシュ
- ④30秒間メッセージを録音できます

伝言を聞く

- ①「171」をダイヤル
- ②音声ガイダンスに従って「2」を押す
- ③自宅などの電話番号をプッシュ
- ④録音されたメッセージを聞くことができます

認知症対策について

質問1 認知症患者の早期発見、早期治療の体制づくりが急がれる中、かかりつけ医の認知症への知識を更に推進していくことが重要であるがこの点についての見解を伺いたい。

回答 【健康福祉部長】 本県では平成19年度から「かかりつけ医認知症対応向上研修」を実施し、これまでに494名の医師が研修を修了している。多くの医師が認知症の診断や治療に関する基礎的な知識を習得できるよう、新たな受講生の増加に力を注いでいきたいと考えている。



質問2 警察官への認知症に関する研修と地域のネットワークとの連携の必要性について所感を問う。

回答 【警察本部長】 認知症の方の行方不明事案は年々増加傾向にあり、平成23年度中は137件を取り扱っており、行方不明全体の約1割を占めているところである。職員の知識・技能を高めるとともに、地域のネットワークや関係機関等と連携し、行方不明者の発見活動等の各種警察活動に適切に対応していきたいと考えている。

質問3 若年性認知症とその家族への経済的サポートについて

回答 【健康福祉部長】 現在、障害基礎年金、精神通院医療費の公費負担、所得税などの税制優遇措置、特別障害者手当、障害者自立支援法などに基づく就労支援、介護保険や障害福祉のサービスによる生活支援があります。

質問4 若年性認知症については、高齢者の認知症とは異なる対応が必要と考えるが、県としてどのように認識しているのか伺いたい。

回答 【健康福祉部長】 ご指摘のように入所や専門職員についての様々な課題があることは認識しております。18年度から、若年性認知症の特性に応じたサービスが可能になるなど、制度の改正がなされてきたところです。自宅近くでの、本人やそのご家族の希望に応じた介護サービスの環境整備が進むよう、今後とも努めていきたいと考えています。

防災教育について

質問1 災害時に児童生徒が主体的に行動する態度を育成する教育手法の普及の推進について

回答 【教育長】 災害が発生したときに主体的に行動できる児童生徒を育成するため、国のモデル事業を活用し、先進的な防災教育を行う学校を支援するとともに、学校における災害安全教育の指針となるよう、「災害安全教育の手引き」を策定して、より実践的な防災教育を推進していきます。

質問2 平成24年度、公立学校の耐震化と防災機能の強化が更に推進されることになり、実施計画及びその後の計画について伺いたい

回答 【教育長】 本県の小中学校の校舎等の耐震化は、現在88.5% 平成24年度は24校で計画。24年度末には、94.6%となり、平成27年にはほぼ完了する見込みである。非構造部材の耐震化は、現在40.9% 平成24年度には35校で計画をされており早急な整備につとめています。防災機能の強化については、備蓄倉庫、屋外トイレ、自家発電設備、貯水槽、浄化施設、通信装置等の整備の重要性を改めて認識している。耐震化とともに今後は、防災強化が益々重要であると認識しており、更なる整備に努めていきます。

質問3 子どもたちが自らの命を守り抜くために、主体的に行動できる防災教育の確立について

回答 【教育長】 子どもへの防災教育は、将来につながる安全意識、能力の基礎を培うもので、長期にわたる教育の継続により、次代を担う子どもたちに、安全に関する考え方を定着させる効果がある。子どもに対する防災教育により、適切な指導を受けた子どもが、緊急時に率先して避難行動をとり、安全意識の低い大人に、避難を促すという効果も期待できるものと認識しています。

《釜石市の軌跡》

今回の東日本の震災で、巨大津波により壊滅的な被害を受けた太平洋沿岸部。

その中で、岩手県釜石市では、死者・行方不明者が1300人にのぼる中、市内の小中学生は、独自の防災教育が功を奏し、ほぼ全員が無事に避難することが出来ました。

釜石市では、2008年に文部科学省の「防災教育支援モデル地域事業」に指定をされ、小中学校に対する防災教育が日頃から推進をされており、こうした取り組みが今回の結果に結びつたとされています。

児童、生徒が経験したことのない災害に遭遇した時、自らの命を守り抜くための主体的に行動する態度を育成する教育手法の普及・推進が重要であると心から考えます。

平成23年度 議会一般質問 主な項目

- | | | | |
|----|---------------------|-----|------------------|
| 6月 | 地域医療について | 12月 | 教員のメンタルヘルス対策について |
| 9月 | 発達障がい者支援について | | 女性の視点からの防災計画について |
| | 障がい者の教育・就労・生活支援について | 2月 | 認知症対策について |
| | | | 教育現場における防災教育について |

詳しい内容については、長野県ホームページをご覧ください。
また、お気軽に、直接お問い合わせください。

所在地 ▶ 〒386-1102 上田市上田原707-3
クラエンタービル104号

☎ ▶ 0268-75-7279

F A X ▶ 0268-75-7706

e-mail ▶ shimizu.jyunko@orange.plala.or.jp